2017年（平成29年）11月27日　月曜日　第616号（毎週1回発行）

APJ

本新聞はヤマト運輸(株)に委託して、ポスト投函方式でお届けしています。（郵便物ではありません）

パチンコ・パチスロ業界最新情報

週刊アミューズメントジャパン

Weekly Amusement Japan

2017年（平成29年）11月27日 月曜日

Weekly Amusement Japan
©2017 Amusement Press Japan Inc.
editing & publishing
Amusement Press Japan
planning & production
Amusement Promotion
printing
Four Plus One
年間購読料27,000円（税・送料込）
本紙記事の無断転載を禁じます。

編集・発行所　株式会社アミューズメント プレス ジャパン　〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-21-10 えびすアシスト5F　TEL.03-5447-0555　http://www.amusement-japan.co.jp

週刊アミューズメントジャパンは
毎週月曜日 Webアップ!
PDFでもご覧いただけます
アミューズメントジャパン　検索

今週の紙面から

全国最速の大当たりに感激!
『CR真・花の慶次2』先行導入
ニューギン　2面

都内で山佐塾を開講
『パチスロ ゴッドイーター 2』試打
山佐　2面

常識にとらわれない店づくり
『SLOT ZEUS R16』
若いスタッフの感性を活かす　2面

児童虐待防止訴え
東遊商　2面

器具販売総数12%減
メダル工業会 総会　2面

掃除でどん底から復活
南開工業　中村 仁社長　3面

株式会社plus　3面

HEIWA　4面

学生の不安払しよく 課題

内定承諾どう増やす?

バブル期を超える売り手市場と言われる新卒採用。内定者を確実に入社に結びつけるためには内定後の学生との接触が欠かせない。では「入社承諾」を得るため各企業はどんな取り組みをしているのか。ホール企業のケースを取材した。

ホール企業の新卒採用

企業の人財採用に関するコンサルティングなどを行うディスコが9月27日から10月4日までの間、全国の主要企業（回答者数1362社）を対象に、18年3月卒者の採用活動状況について調査したところ、42・9%が採用選考を「終了していない」と回答。今後も採用を続けると答えている。前年よりも内定辞退者が「増えた」企業も4割超に上った。

同社の「学生モニター調査（大学4年生1123人が対象）によると、6月1日時点の内定取得者の割合は63・4%。就職先を決定し活動を終了したのは全体の28・8%、活動継続中は71・2%。つまり、内定をもらった学生も他の企業の選考結果を待っている、またはエントリー予定があるという状況だった。

それが8月、9月にかけて大きく変わっていく。9月1日時点では、内定取得者は91・4%。そのうち91・6%が「就職先を決定し活動終了」と回答した。当然、企業側も学生側との接触を増やしていく時期で、「内定者集合があった」と答えた学生は6月時点では28・0%だったのに対し、9月1日時点では57・0%へと跳ね上がる。つまり、この3カ月の間で企業側がいかに内定者たちにアプローチをするかによって、内定承諾率は高まるということだ。

ダイナムの内定者研修で行われた「パチンコ体験」

承諾率（内定を出した学生から承諾をもらう割合）を高めることは、エントリー数を増やすこと（母集団の形成）とともに、採用数を確保するためのポイントだ。ホール企業は内定辞退が多いと言われるだけに、より重要になってくる。

では、ホール企業では内定を出した学生にどのように接触したのか。

ダイナムは働くイメージを持ってもらうための店舗見学や先輩社員との交流、女子会などを実施している。特に内定承諾につながっているのが、学生と採用担当者が2泊3日で行う合格者研修だという。業界や企業の説明、社会人としての教養といった教育研修だけではなく、食事や温泉をともにしたり、パチンコを体験したり、周りの観光名所を巡ったりと、遊びと学びを融合させたプログラムだ。

参加者は1回の研修で約20人。それに対して社員6～7人が付き添う。今年度は約100人の学生が参加した。この内定者研修は内容をブラッシュアップしながら、10年以上継続している。

ダイナムの採用担当者は「弊社の強みである社員間の絆の強さを学生に見てもらえるので、社員の働き方を見て入社を決めてくれる学生も多い。一人ひとりに時間をかけ、担当者が学生に寄り添い、向き合い、不安をなくすことを心がけている。入社を決めかねている学生でもパチンコ業界に対するイメージが変わったという学生が多く、その場でダイナムの入社を決めてくれる学生もいる」と話す。

マルハンは3年前から合格者フォローの一環として内定者への適正検査を実施。この検査によって内定者が働くうえで「仕事内容」「人」「待遇」「理念」の4つのうち、どの項目を重要視しているかを明確にする。その結果を元に学生のタイプ（性格）を分類し、内定者の思考に近い若手社員と役職者に引き合わせることでマルハンの魅力を伝えやすくしている。この検査を始めたことで内定承諾率が10ポイント上昇したという。

シティコミュニケーションズが開催したカラオケ大会選考

面白いのは、シティコミュニケーションズの取り組みだ。同社では18年卒者採用から「アミューズメント採用」を開始。会社説明会や採用選考にカラオケ大会や旬な体験型ゲームを取り入れた。1曲歌えば1次面接通過の「アニソンカラオケ大会型選考」、ネットカフェDiCEを運営するネットカフェ事業部は、自社店舗で犯人探しゲームを体験する「体験型会社説明会」を実施した。

「まずは面白いことをする企業だと感じてもらいたいですし、その風土に共感してもらえる学生を採用したいという気持ちもあります」と人事担当者は話す。こうした取り組みによって、内定承諾を増やすことだけでなく、入社前と入社後のギャップをなくすことで離職率の低下にもつながっているという。

全日遊連
18歳未満の立入禁止徹底へ
店外、店内での告知を強化

全日遊連は15日、都内で理事会を開催。18歳未満の入場立入禁止を徹底するため、新たに店内表示のポスターと現金入口付近（ユニット）に貼付するシールを作成したことを報告した。ポスターには18歳未満の者が遊技した場合、その場で遊技を中止して退店してもらうこと、その際、持ち玉やメダルの賞品交換や遊技料金の返金等には一切応じないこと、ユニット貼付のシールにも遊技料金の返金、賞品交換ができないことを明記した。

阿部恭久理事長は「入口、店内、販売時、景品交換という一連のポイントで確認が取れる。これらの4点を活用し、18歳未満の立入禁止を徹底してもらいたい」と述べた。

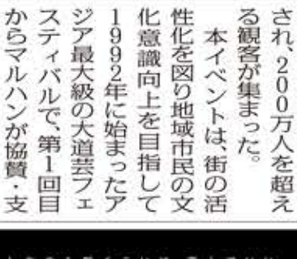
18歳未満の入場禁止の徹底については、今年3月にギャンブル等依存症対策の強化に関する論点整理の中で課題のひとつとして指摘されていた項目。ホールではこれまでも店外やユニット部分で告知をしていたが、さらにお客に周知徹底し、トラブルを防ぐことを目的としている。シールの制作は電子認証システム協議会が全面協力し、「遊報」11月号に同封され各店舗に送られる予定だ。

このほか、理事会終了後の記者会見で阿部理事長は、12月1日までに設置比率を30%以下にする目標を掲げている「パチスロの新基準に該当しない遊技機」に関し、「日電協からの報告では9月末時点で29%台と全体ではすでに達成しているが、これは全体平均の数値。20%の店もあれば40%の店もある状況。あくまで個店単位で30%を切ることが目標」とした。この先の削減目標については「ファンに喜んでもらえる遊技機が出てきて、はじめて入れ替えができる。そうした遊技機環境づくりに向け協議していくことが必要」との見解を示した。

地域住民とワークショップ
ニラク 点灯用ライト制作

ニラクは10月31日、11月17日に福島県の郡山駅西口で行われた「ビッグツリーページェント・フェスタinKORIYAMA」のイルミネーションの点灯式に向け、「みんなで郡山に灯をともそう。楽しくなる木。イルミネーション」と題したワークショップを開催。地域の障がい者施設の関係者や、地元のプロバスケットチーム、ニラク従業員など約120人が点灯用のライトを手作りした。

17日、地元の小学生や専門学生、地元のプロバスケットチーム、ニラク従業員、ニラクの来店客などが「楽しいと思うこと」をテーマにそれぞれ



ランプシェード300個が装飾された

想いを描いたランプシェード300個を装飾し、郡山駅周辺を明るく彩った。

イルミネーションは、17日から来年2月14日まで灯される。

pp奨学金
学生49人が応募

業界有志で設立されたパチンコ・パチスロ奨学金（pp奨学金）制度が10月31日、9月15日から行っていた2018年度給付生の募集を終えた。期間内の学生応募者数は49人。今後書類選考や面接を経て、18年2月中旬までに給付生を決定する（来年度新1年生を除く）。

pp奨学金制度は今年4月にパイロット給付生8人に奨学金を支給。今回初めて18年度給付生の一般公募を行った。pp奨学金募玉募金箱を設置している各店舗でのアピールのほか、新聞や週刊誌、Webサイトでの広報活動で募集した。

pp奨学金運営事務局は今回の募集結果について「多いとはいえない数字かもしれないが、世相を映した定量的な傾向が見てとれた」と述べている。

pp奨学金は遊技客の募玉を原資とした、学生に返済義務を負わせない給付型奨学金。10月31日現在、34社100店舗のホール企業・団体がpp奨学金制度への賛同を公開している。

大道芸の祭典に協賛
マルハン

大道芸人たちが静岡の街を盛り上げた

日本国内はじめ世界17カ国から104組のパフォーミングアーティストが参加する大道芸の祭典「大道芸ワールドカップin静岡2017」が2日から5日の4日間にわたり静岡市内各所で開催され、200万人を超える観客が集まった。

本イベントは、街の活性化を図り地域市民の文化意識向上を目指して1992年に始まったアジア最大級の大道芸フェスティバルで、第1回目からマルハンが協賛・支援している。

全日遊連 加盟店舗数
営業店舗9742軒

全日遊連が毎月実施している組合加盟店舗数調査によると、10月末時点での営業店舗数は9742店。10月中の新規出店は4軒、廃業店舗は35軒で、営業店舗数は前月比で32軒減少した。

遊技機台数は、パチンコが251万2003台、パチスロは154万8507台。パチンコは6カ月連続、パチスロは2カ月連続で減少している。

全日遊連加盟店舗の実態調査結果　都府県方面遊技業協同組合加盟店舗

	営業店舗数	新規店舗数	廃業店舗数	休業店舗数（当月発生分）	遊技機台数			
					ぱちんこ遊技機	回胴式遊技機	その他（※）	総台数
2016年10月	10,021	3	27	139(13)	2,578,284	1,524,948	103	4,103,335
11月	9,993	8	37	138(15)	2,570,292	1,525,852	103	4,096,247
12月	10,011	46	33	131(16)	2,576,278	1,541,556	103	4,117,937
2017年1月	9,964	9	46	134(18)	2,558,264	1,543,304	103	4,101,671
2月	9,950	8	31	129(8)	2,554,943	1,541,851	103	4,096,897
3月	9,915	10	47	123(15)	2,546,723	1,541,591	103	4,088,417
4月	9,920	20	18	120(10)	2,546,724	1,551,452	103	4,098,279
5月	9,884	7	38	122(16)	2,538,988	1,550,913	103	4,090,004
6月	9,859	22	41	135(29)	2,536,885	1,551,480	103	4,088,468
7月	9,839	4	35	123(6)	2,532,140	1,552,877	103	4,085,120
8月	9,813	8	38	119(17)	2,530,663	1,554,200	103	4,084,966
9月	9,774	4	41	114(11)	2,520,597	1,551,793	103	4,072,493
10月	9,742	4	35	114(15)	2,512,003	1,548,507	103	4,060,613

（注）①店舗数、遊技機台数は、各月の末日現在の数　②※その他はアレンジボール、じゃん球、スマートボールを意味する　（2017年11月15日現在の集計）